

環境経営レポート

株式会社ユニックス

2023年度 第37期

(対象期間 2023年5月1日～2024年4月30日)



©環境省
エコアクション21
認証番号 0010733



2024
健康経営優良法人
Health and productivity

発行日： 2024年7月29日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	1
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

驚異的な耐摩耗性、高機能・幅広い用途で表面処理をサポート

ユニレタン

“滑るポリウレタン塗料”

テフタン

短納期・低価格を実現!!
試作品は
1個からOK!

エコアクション21

ごあいさつ

当社は「顧客満足から始まる社員満足」を経営姿勢としており、常に顧客満足度の向上を目指し、多様なご意見を聞き改善に努めてまいります。さらに、現状に満足しない研究開発で、より幅広い産業分野でのニーズ対応・用途改題を推し進めていきます。今後もお客様や協力会社様および、環境支援機構や金融機関等、多くの方々のご意見とご理解・ご支援をいただきながら、コーティング業界に革新を起こしていきたいです。そのためには、環境を重視し無公害化を目指した企業になるための努力を続け成長して、「夢」を実現していきたいと考えています。

全てに「感謝できる人⇒企業」になり、そして「感謝される人⇒企業」に成長する努力をしていきます。

環境経営方針

当社は本業である金属部品等に樹脂をコーティングする事業をを通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。地球環境保全が自然環境及び社会経済活動の重要課題であることを認識し、環境経営システムを構築・運用することにより、お客様に喜んでいただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。また、環境取組みへの規制・監視の強化も取組みます。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 脱炭素化社会に向けて電力や燃料の二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 循環型社会に向けて廃棄物の発生抑制や再資源化に努めます。
4. 水資源の有効利用のため水の削減に努めます。
5. 溶剤など化学物質の適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した高機能化製品をお客様にお届けします。
7. 作業環境に対する規制・監視の強化を推進します。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2020年5月1日

改定日：2022年5月1日

代表取締役社長 町田 泰久

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社ユニックス
代表取締役社長 町田 泰久

(2) 所在地

本社 大阪府東大阪市加納4丁目14番31

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 管理部係長 植田 聡 TEL : 072-968-1166

(4) 事業内容

ウレタンコーティング

(5) 事業の規模

売上高 187,316 千円

	本社	合計
従業員 名	10 名	10 名
延べ床面積 m ²	724 m ²	724 m ²

(6) 事業年度

5月1日～4月30日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 株式会社ユニックス
活動 : ウレタンコーティング

□事業の紹介

私たちは「ユニックスならではの」オリジナリティを追求し続けます。
幅広い材料に、優れた機能を付与するポリウレタンを主力とするコーティングシステムで、様々な要求にお応えいたします



Coating

コーティング 加工

ユニックス特有のウレタンコーティングをはじめ、各種フッ素コーティングやその際の屋根コーティング、メッキ、熱処理、窒化処理等々の様々な表面処理に対応することができます。



Lining

ライニング 加工

ウレタンシートやペレット用シート、シリコンシートなど各種指定の材料ライニング加工です。腐食・耐油性換気扇の採用で長寿命の加工、また騒音を減らすサイレントシートも提供しています。



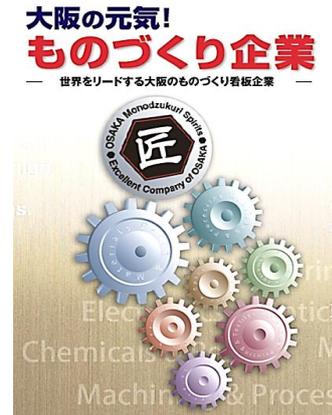
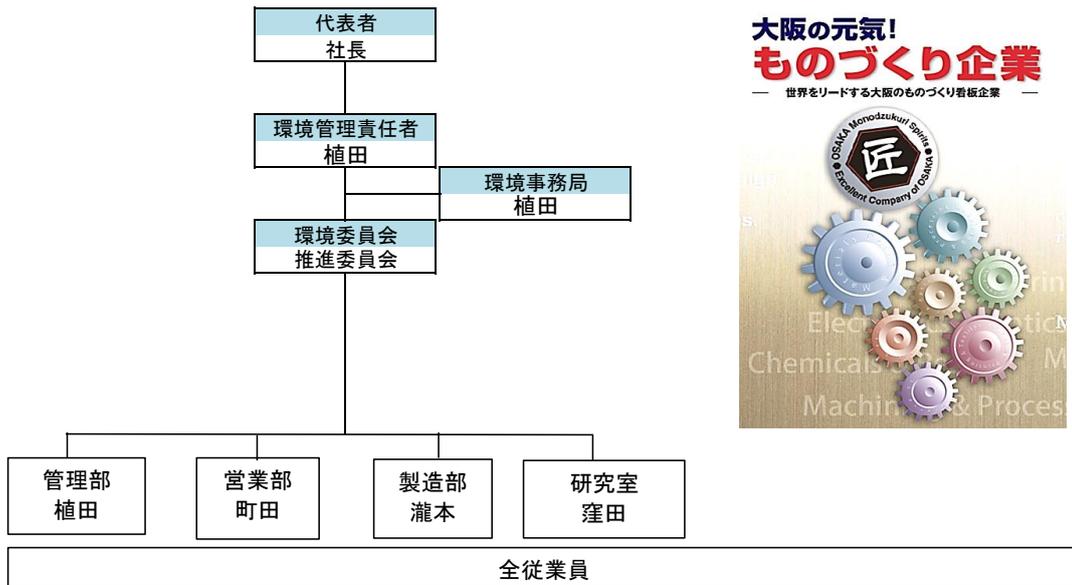
On-site Construction

出張施工・工事

お客様の工場内はもちろんの事、屋外の作業現場におきましてもウレタンコーティング加工をお引き受けいたします。

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2024年5月2日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度	2022年度	2023年度	
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	48,461	47,247	47,440	
Scope1 (化石燃料)	kg-CO ₂	16,949	15,543	12,391	
Scope2 (電力)	kg-CO ₂	31,511	31,703	35,049	
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	k g	220	218	218	
産業廃棄物排出量	k g	12,100	10,550	5,625	
水使用量	m ³	221	203	224	
			0.318		kg-CO ₂ /kWh
			関西電力		

※電力の二酸化炭素排出係数(調整後)
 ※関西電力【A0272】R1年度実績-R3.7.19一部追加・更新 環境省・経済産業省公表を使用。

環境経営目標及びその実績

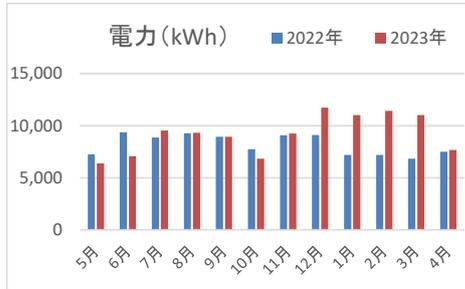
項目	年度	2022年度			2023年度			評価	2024年度		2025年度	
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)		(目標)			
電力による二酸化炭素	kg-CO ₂	31,703	31,386	35,049	×	31,069	30,752					
	基準年度比		99%	111%		98%	97%					
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	15,543	15,233	12,391	○	15,077	14,922					
	基準年度比		98%	80%		97%	96%					
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	47,247	46,619	47,440	×	46,146	45,674					
一般廃棄物の削減	kg	218	216	218	×	214	211					
	基準年度比		99%	100%		98%	97%					
産業廃棄物の削減	kg	10,550	10,445	10,025	○	10,339	10,234					
	基準年度比		99%	95%		98%	97%					
水道水の削減	m ³	203	201	224	×	199	197					
	基準年度比		99%	110%		98%	97%					
メテロ購入量削減	kg	24,450	24,206	26,740	×	23,961	23,717					
	基準年度比		99%	109%		98%	97%					
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み		行動目標(次項による)										
課題を解決しチャンスを活かす取り組み		行動目標(次項による)										

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		×	不要照明の消灯、パソコン省エネモードの設定は取り組んでいたが、冬季の寒さが厳しく、電気ストーブ、エアコン等による大幅な消費電力の増加により、全体として基準値より11%増加。 次年度は、カイロ等、消費電力の少ない方法での防寒を検討。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)		△	
・不要照明の消灯		○	
・フィルターの定期的な清掃・交換をする		△	
・パソコン省エネモードの設定		○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検		△	

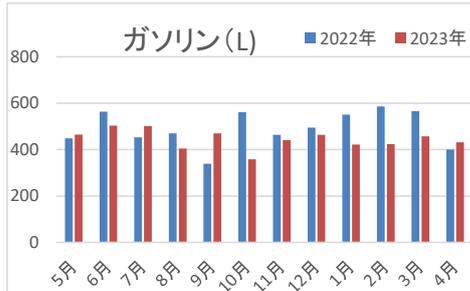


取組紹介欄

2F改修工事に伴いエアコン等を設置したので、特に冬季の消費電力が大幅に増加、空調温度の適正化や、不要照明の消灯等の実施や消費電力の少ない防寒対策で検討していく

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	7,245	9,374	8,872	9,280	8,932	7,747	9,074	9,100	7,200	7,200	6,830	7,503
2023年	6,380	7,075	9,541	9,330	8,948	6,842	9,241	11,743	11,015	11,429	11,009	7,663

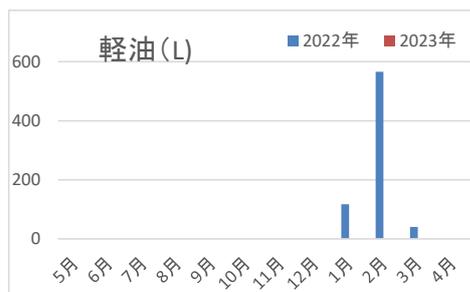
自動車燃料による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	基準年度と比較し、ガソリンの使用量は、10%削減に成功。 軽油を使用がなくなったため、全体としては、20%の削減に成功した。 次年度も引き続き現在の目標を継続して行う
・エコドライブの浸透		○	
・効率的なルートで配送		○	
・エリア別営業活動の見直し		△	



取組紹介欄

効率的なルート営業、エリア別営業会議の見直し等でガソリンの使用量は基準年度より約10%削減に成功

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	448	564	453	470	339	561	463	494	551	586	565	400
2023年	465	503	501	405	470	359	441	463	422	423	457	432

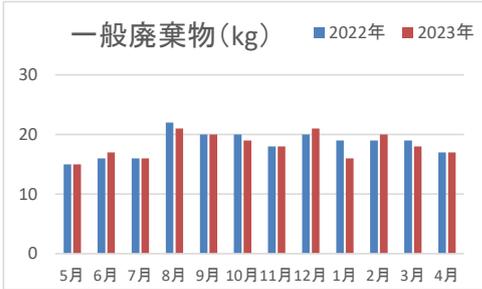


取組紹介欄

軽油を使用しなかったため、基準年度より大幅に減少する形となった

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	0	0	0	0	0	0	0	0	117	566	40	0
2023年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

一般廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		×	基準年度と比較し、顧客からの要望での帳票類が増大し未達成となった。次年度はさらに裏紙の利用、梱包資材への再利用を徹底しより削減出来る様にする
・分別の徹底		△	
・帳票見直しによる印刷物の削減		○	
・梱包材の再利用		○	

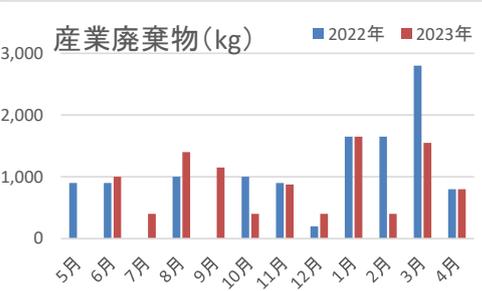


取組紹介欄

廃棄する紙のほとんどはシュレーダーをして、緩衝材として利用

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	15	16	16	22	20	20	18	20	19	19	19	17
2023年	15	17	16	21	20	19	18	21	16	20	18	17

産業廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	今年度は基準年度より5%削減を達成できた。次年度も引き続き目標達成できるよう、特に梱包資材への再利用と再生機の利用に重点を置く
・作業ミスによる廃棄量の削減		○	
・梱包材の再利用		○	
・再生機の利用		○	

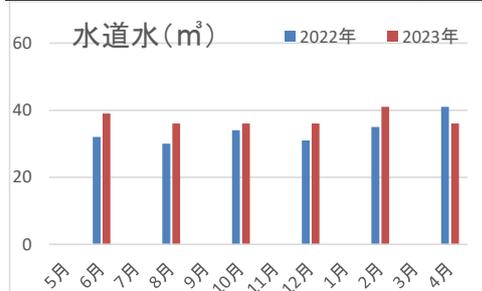


取組紹介欄

段ボールは廃棄せずに緩衝材、梱包資材として利用

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	900	900	0	1,000	0	1,000	900	200	1,650	1,650	2,800	800
2023年	0	1,000	400	1,400	1,150	400	875	400	1,650	400	1,550	800

水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		×	基準年度と比較し、10%増加。プースの入替作業があったためと考えられる。次年度も引き続き節水意識を高めて目標を達成できるよう行動する。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示		○	

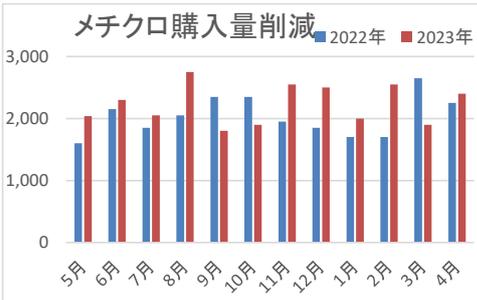


取組紹介欄

節水シール等を貼り付け、節水を意識させる

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	0	32	0	30	0	34	0	31	0	35	0	41
2023年	0	39	0	36	0	36	0	36	0	41	0	36

メテクロ購入量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	基準年度と比較し、9%の増加となった。これは、剥離作業によるメテクロの使用量増加によるものである。次年度は特に作業ミスによる剥離作業の削減できるように取り組む。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	×	



取組紹介欄

メテクロの再生機を使用する事で、購入量を削減させる。また、クレームを削減する事で剥離に使用するメテクロの量も削減する。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	1,600	2,150	1,850	2,050	2,350	2,350	1,950	1,850	1,700	1,700	2,650	2,250
2023年	2,040	2,300	2,050	2,750	1,800	1,900	2,550	2,500	2,000	2,550	1,900	2,400

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・有害性物質の表示の徹底	○	今年度、リスクアセスメントの実施、有害性物質の表示は社員教育と通じて達成できた。次年度も引き続き継続して行うように取り組む
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	

取組紹介欄 ・メテクロ及び化学物質の有害性物質の表示の徹底

環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・クレームの件数の削減	△	今年度は基準年度より18%増加となった。次年度も引き続きクレーム削減に重点を置いて取り組む
・有害性の少ない原材料の研究開発	△	
・清潔な職場環境の継続	△	

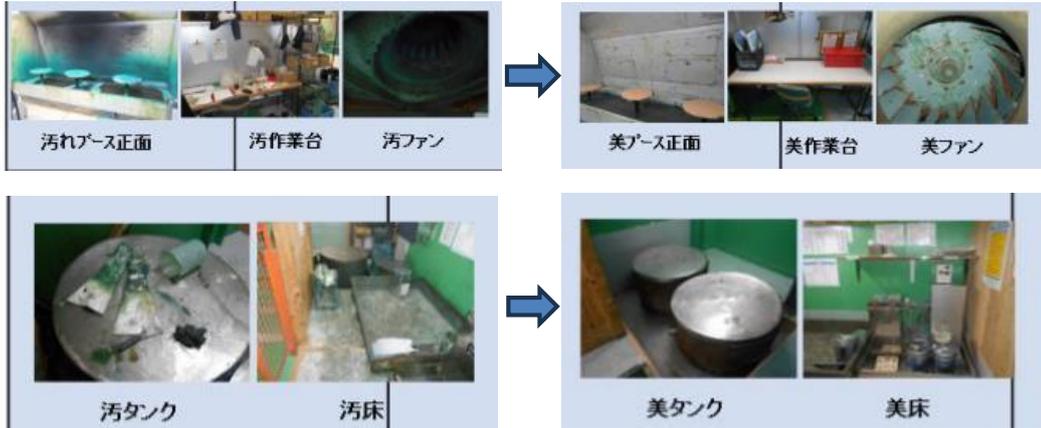
課題を解決しチャンスを活かす取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	今年度は経営実践塾等の社員教育の継続的实施している。来年度も継続して行う事はもとより、教育の範囲を広げて取り組むようにする
・社員教育	△	
・働き方改革	△	
・新製品・商品開発	△	

取組紹介欄 経営実践塾等の社員教育の継続的实施及び水溶性原料の開発の継続

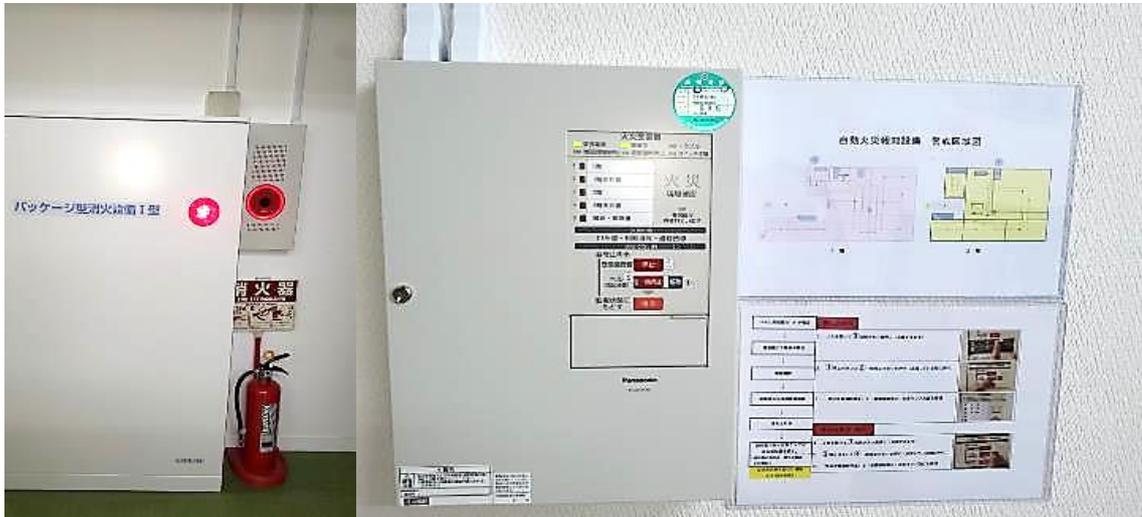
事業所の取組紹介

<本社>

5S活動



消火設備



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
騒音規制法	空気圧縮機、送風機の設置
振動規制法	空気圧縮機の設置
大気汚染防止法	塗装ブース(VOC)、洗浄設備の設置(ジクロロメタン)
水質汚濁防止法	洗浄設備の設置(ジクロロメタン)
P R T R 法	塗料(トルエン、ジクロロメタン等)
労働安全衛生法	有機溶剤(トルエン、ジクロロメタン等)
浄化槽法	浄化槽の使用
消防法(危険物)	危険物の保管
フロンの排出抑制法	業務用空調機、冷却水循環装置
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

本年度は外部からの環境上の苦情・要請等はありませんでした。

2024年4月26日

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年10月18日	■実施場所 本社
■参加者： 瀧本、植田、南、信谷、東川、黄、木谷、中野、芦田	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 建屋正面に避難出来ない場合の裏口の避難口を周知	
■評価： 正面以外に避難口がある事を周知出来た。	手順書の変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年5月1日

<p>二酸化炭素排出量削減は、現在の目標を継続していく。 化学物質は、作業効率を上げることと、クレーム減少で、削減する。 製品への環境配慮は、クレーム報告でその実態を把握し、クレーム数を減らすことで、無駄な材料の使用を削減する。 メチクロの再生機を今後も活用していく。 今季より産業廃棄物(ガラスくず、金属くず、廃ジクロロメタン)の数量を管理し、今後減少するよう行動していく様に変更した。 化学物質の適正管理の項目を管理し、有害物質に対する社員の意識を向上させる。</p>

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

これまでの環境活動の紹介



大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンに出展します。

大阪ヘルスケアパビリオンでは、大阪の活力・魅力を世界の人々に伝えるべく、「展示・出展ゾーン」にて毎週入れ替わりで展示が行われます。
弊社はグループ名「ホカホカニコニコおにぎり」(5社)の代表企業として、日本のソウルフードであり海外でも人気上昇している「おにぎり」を、よりおいしく簡単に出来立てを提供できる新技術を展示します。
展示期間：2025年10月7日(火)～10月13日(月)
展示企画者：大阪商工会議所(共同：大阪信用金庫)



「健康経営優良法人 2024」の認定を受けました。

今年も、経産省と日本健康会議が主導する「健康経営優良法人 2024」の認定を受けました。



「ビジネスマッチングフェア2024」に出展しました。

2024年6月11日(火)～12日(水)、マイドーム大阪3F 展示場にて開催されましたビジネスマッチングフェア2024に出展しました。
ご来場されました皆様に、心よりお礼申し上げます。